

2022 年度実施概要

学校名

気仙沼市立鹿折小学校

採択活動名

海で復興「気仙沼の魅力」発信プロジェクト

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 鹿折の宝～人・自然・ものを見つけよう～	3年	海と生きる探究活動
2. 山・川・海～命をつなぐ鹿折川～	4年	海と生きる探究活動
3. 世界とつながるぼくらの海郷学	5年	海と生きる探究活動
4. 海で復興「気仙沼の魅力」発信プロジェクト	6年	海と生きる探究活動

取り組みの概要

1 実践の概要

本校は「志高く、自ら考え、持続可能な社会をたくましく生き抜く児童を育む、E S Dの推進」を活動テーマとして、地域の人と触れ合い、自然・文化・産業に関わりながら、ふるさと気仙沼への思いや考えを深め、自分の考えを表現し、課題解決に向けて協働して活動することができる「持続可能な社会の創り手」としての児童の育成に取り組んでいる。

教育活動全体を通じたE S Dの実践を通して、ユネスコスクールが重点を置く3つの分野のうち「②持続可能な開発および持続可能なライフスタイル」、 「③異文化学習および文化の多様性と文化遺産の尊重」を意識しながら、①自分の考えをもつ力【創意】、②人を大切にする力【誠意】、③自らかかわる力【善意】、④チャレンジする力【熱意】の4つの資質・能力の育成に努めている。また、3年生以上の学年に「海と生きる探究活動」という特設領域を設定し、①地域素材を活用しふるさとを知る活動、②他地域や世界とのつながりから知識や考えを広げ深める学習を展開した。

(1) 身近な自然や人と触れ合う活動

低学年では自然体験をテーマに活動を行ってきた。1年生では、気仙沼大島の小田の浜で貝殻を拾う活動、2年生では、舞根森里海研究所で海の生き物に親しむ活動を行った。児童が様々な不思議に出会い、豊かな気付きや疑問を引き出すことができた。また、体験して得た気付きや疑問は、音楽や図画工作の教科の表現活動に生かすことができた。

(2) 地域素材を活用したふるさとを知る活動

3年生では、気仙沼市の伝統的な祭りや文化などについて調べた。岩井崎で開かれる「天旗まつり」や波板地区が発祥の「波板虎舞」について、祭りに込める願いや思いについて学び、天旗づくり体験や虎舞、太鼓演奏を実際に行った。活動を通して、児童が地域を大切に思う気持ちを高めることができた。4年生は、「命を育む水」をテーマに鹿折川の環境調査を行った。また、湧き水を利用して米作りを営む農家の指導を受け、稲作を体験する活動を行った。地域の米作り農家の方と連携しながら鹿折川の豊かな水を利用して人と水とのつながりについて考え、地域のよさと食物への感謝の気持ちを育むことができた。また5年生では、気仙沼市の水産業の魅力や課題をテーマに探究活動を行った。水産業を支える造船業、マグロ延縄船等の見学を通して、地域の産業でつながるものや人の思いについて学ぶことができた。

(3) 他地域や世界とのつながりから知識や考えを広げ深める学習

6年生は、海洋教育「気仙沼の魅力発信プロジェクト」をテーマに「スローフード都市宣言」をした気仙沼市の食の魅力について調べる学習を行った。活動の一環として、修学旅行にスローフード探究活動を取り入れ、気仙沼市と会津若松市の食材を組み合わせたオリジナル弁当を提案し、試食会を開いた。気仙

沼市の食と内陸に位置する会津若松の食材を比較することで、気仙沼の食の魅力を再発見し、大切に守っていこうとする思いを育むことができた。また、3年生以上の学年が地球温暖化の影響で国が沈む恐れのあるキリバス共和国とオンライン交流会を実施した。キリバス共和国の小学生と、伝統や水、産業、まちづくりをテーマに話合うことで、児童の多様性を育むことができた。

2 今後の課題と計画

令和5年度は、教育課程特例校（海洋教育）の指定を受け4年目となる。探究的な学びの充実を図るために、地域・企業・大学などの機関と連携を深めていくとともに、他教科・領域を横断的に学ぶカリキュラム改善も図っていきながら、児童の思考力の深まりにつながる探究的な学びのプロセスについても研究していきたい。

また、これまで実施してきた活動や、他地域やキリバス共和国等の他国との交流会をカリキュラムにどのように位置付け、児童の資質・能力をどのように育んでいくか考えていきたい。まず、これまで作成してきたESDデザインシートや年間指導計画に整理しながら、目指す姿の実現に向けて系統立てて児童の力を育んでいきたい。



【鹿折小】1年貝殻拾い



【鹿折小】2年舞根研究所



【鹿折小】3年浪板虎舞



【鹿折小】4年鹿折川調査



【鹿折小】5年魚市場見学



【鹿折小】6年オリジナル弁当試食



【鹿折小】6年キリバス交流